

(12) ピウカ川

ピウカ川は、その源を芽室町市街地より南西約16kmの丘陵地に発し、流路を北東にとり、芽室町市街地を貫流した後、十勝川に合流する流域面積18.1km²、流路延長13.6kmの一級河川である。

ピウカ川流域の地形・地質は、^{しぶさんがわ}渋山川、美生川に挟まれた平地もしくは緩やかな段丘地帯をなしている。段丘堆積物は主に、礫や砂で構成され、その上部は火山灰層で覆われている。流域は、下流部の市街地が一部と、中流域の新嵐山地区に山地がある以外は、農地として利用されている。

ピウカ川は、昭和37年及び昭和47年の集中豪雨により、甚大な被害を被った経緯があり、その後、昭和48年から国道橋より上流2.3kmで、河川改修が行われている。さらに、昭和56年には大水害があり、215.0haの浸水被害が発生しその上流4.2kmにおいて、平成元年～11年に河川改修が行われている。また、それより上流区間においては、昭和62年から平成15年にかけて、国による農業の排水事業が実施されているが、抜本的な治水対策は行われていない。平成28年8月の台風10号では、溢水により浸水19.0ha、床上浸水1戸の被害が生じ、沿川住民から強い改修要望が挙がっている。このため十勝川合流点からメムロスキー場近傍の支川合流点までのうち、6.8kmの改修を早期に実施し、治水安全度を確保する必要がある。

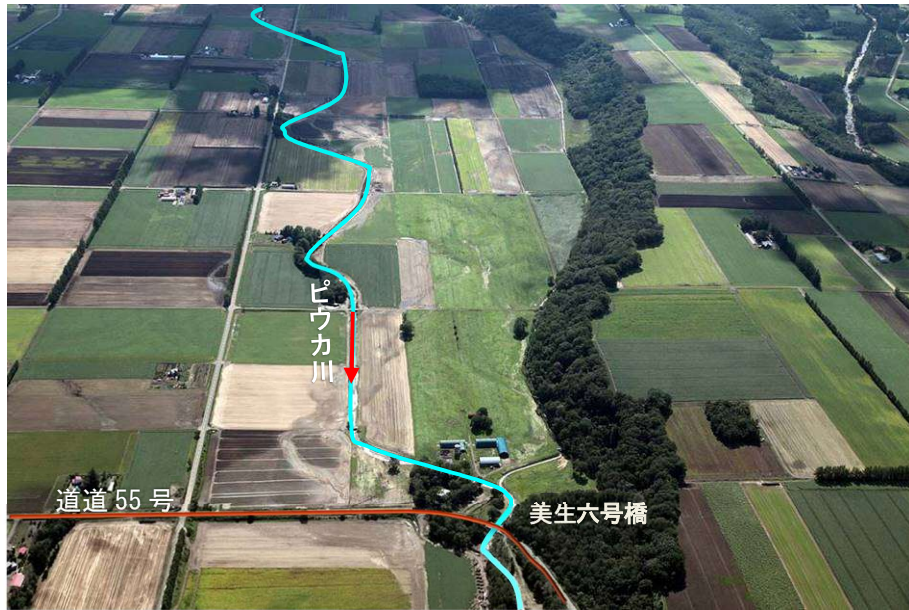
表1-12 ピウカ川における主な災害

年次	浸水面積 (ha)			浸水家屋 (棟)			被害原因
	農地	宅地	計	床下	床上	計	
S47.9.17-19	42.0	53.0	95.0	23	3	26	台風20号
S56.8.3-6	215.0	0	215.0	0	0	0	台風12号
H28.8.30-31	-	-	19.0	0	1	1	台風10号

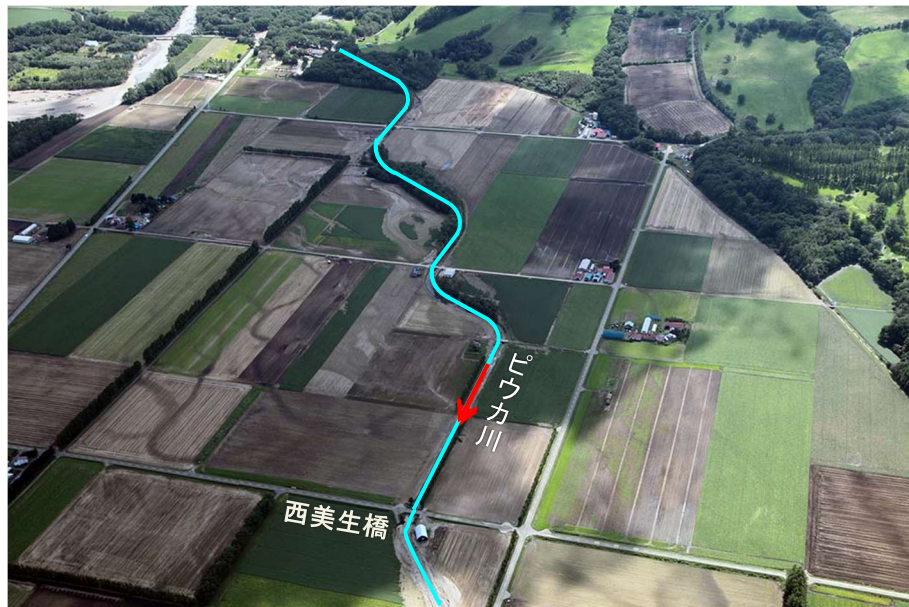


▲ピウカ川周辺の市街地

出典：芽室町資料



▲美生六号橋付近の被災状況
<平成28年8月>



▲西美生橋付近の被災状況
<平成28年8月>

(13) 佐幌川

佐幌川は、その源を日高山脈の北部の山地に発し、同山脈の東斜面を南下して佐幌ダムを経て十勝平野に入り国道38号、JR根室本線と並行に南下を続け新得市街地を貫流し、更に清水町市街地東部を流下し、パンケ新得川、ペケレベツ川、小林川などの支川と合流しながら十勝川に注ぐ流域面積379.6km²、流路延長42.8kmの一級河川である。

佐幌川の河川名は、アイヌ語のサ・オロ・ペツ（前の方（十勝川の方）の・ところに・ある・川）に由来しているという説がある（「北海道の川の名」^{*1}より）。

佐幌川の地形・地質は、ジュラ紀・白亜紀の粘板岩、シルト岩、花崗岩が基盤をなし、これらを被覆するものは、右岸は扇状地堆積物の砂、礫、左岸には溶結凝灰岩がみられ河川付近では氾濫原堆積物の砂、礫が厚く堆積している。

佐幌川流域の土地利用状況は、山地の源流付近には原生林が残されているが多くはカラマツ等の人工林で整備されており平地は畑、採草地として広く利用されている。沿川には酪農中心の肥沃な耕地が広がっている。

佐幌川は昭和37年8月の台風9号による集中豪雨による被災を受けて、昭和37～41年に新得町市街地の3.1km、及び、昭和37～40年に清水町の1.4kmにおいて河川改修が実施された。さらに、昭和49～55年には清水町的小林川合流点付近の1.3kmにおいて、河川改修が行われ、また、昭和59年には新得町市街地上流約10km地点に佐幌ダム

（総貯水容量10,400千m³、流量調節365m³/s）が完成、その後、昭和61～平成12年に新得町市街地の3.8kmにおいて河川改修が行われた。しかし、平成28年8月の台風10号では、54.5haの浸水、浸水家屋104戸の被害が生じたことから、再度災害防止の観点から、治水安全度を向上させる必要がある。



▲佐幌川周辺の市街地



▲佐幌ダム

表1-13 佐幌川における主な災害

年次	浸水面積 (ha)			浸水家屋 (棟)			被災原因・被災状況
	農地	宅地	計	床下	床上	計	
S37.8.3	2421.0	0.0	2423.0	268	35	319	台風9、10号
S47.9.6-19	5.0	5.7	10.7	508	3	511	豪雨及び台風20号
S49.8.2-7	501.8	0.2	502.0	27	0	27	豪雨
S50.8.5-8.25	0.8	0.5	1.3	7	0	7	豪雨、暴風雨
H28.8.30-31	-	-	54.5	-	-	104	台風10号 浸水家屋には家屋損壊を含む



▲古潭橋付近の被災状況
<平成28年8月>



▲神居橋付近の被災状況
<平成28年8月>

(14) ペンケオタソイ川

ペンケオタソイ川は、その源をオダッシュ山付近の山地に発し、新得町市街地とその上流農地を流下し、佐幌川へ合流する流域面積22.8km²、流路延長11.6kmの一級河川である。

ペンケオタソイ川の河川名は、アイヌ語のペンケ・オタ・スイ（上流側の・砂または穴・川）に由来しているという説がある（「アイヌ語地名リスト」^{*3}より）。

ペンケオタソイ川流域の地形・地質について、源頭域のオダッシュ山付近の山地は主に花崗閃緑岩及び花崗岩からなり、周氷河性斜面堆積物（崖錐堆積物）が基岩を覆って広く分布している。中下流域は段丘堆積物の砂礫や火山灰により構成されており、広内川合流点から佐幌川合流点付近までは、主に礫・砂が分布する。

ペンケオタソイ川の上流域は森林が広がり、中下流域は農地や新得町市街地が広がる。

ペンケオタソイ川は、昭和56年～平成5年に佐幌川合流点から上流に向かって1.3kmにおいて河川改修を行い、その上流3.0kmは昭和61年～平成7年に砂防工事（流路工）が行われている。また、その上流については、昭和54年～60年に砂防工事（床固工）が行われている。

ペンケオタソイ川において近年大きな被害は発生していないが、平成28年の台風10号では、隣接する中新得川において甚大な被害が発生している。再度災害防止の観点から、ペンケオタソイ川では中新得川合流点から広内川合流点までの1.1kmにおいて河川改修を実施するとともに、広内川及び中新得川と一体となって、治水安全度を確保する必要がある。



▲ペンケオタソイ川周辺の市街地

(15) 広内川

広内川は、その源をオダッシュ山付近の山地に発し、新得町市街地とその上流農地を流下し、ペンケオタソイ川へ合流する流域面積7.8km²、流路延長8.7kmの一級河川である。

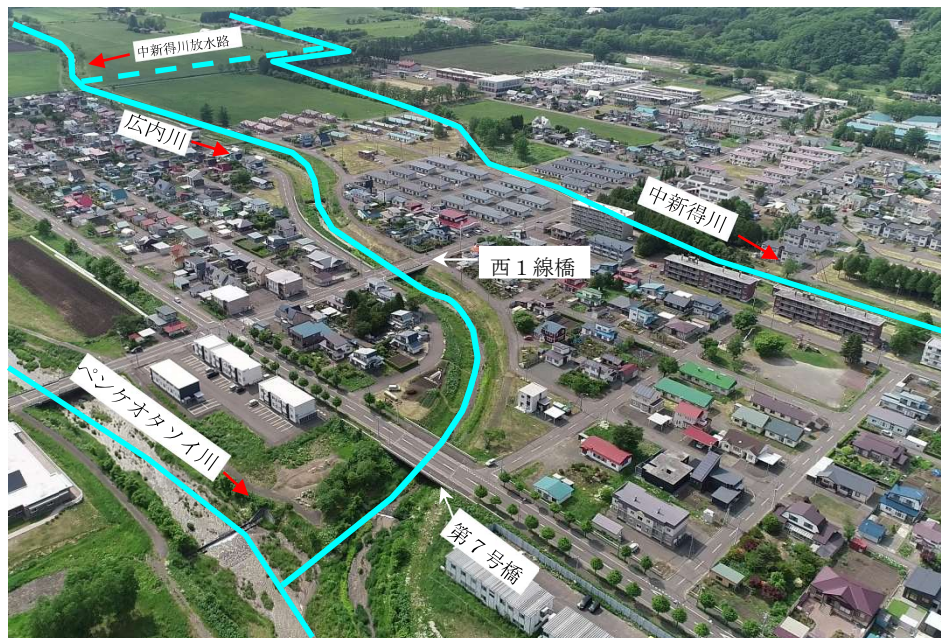
広内川の河川名は、アイヌ語のピロチ・ナイ（断崖の・谷または沢）に由来しているという説がある（「十勝アイヌ語地名解」^{※4}より）。

広内川流域の地形・地質について、源頭域のオダッシュ山付近の山地は主に花崗閃緑岩及び花崗岩からなり、周氷河性斜面堆積物(崖錐堆積物)が基岩を覆って広く分布している。中下流域は段丘堆積物の砂礫や火山灰により構成されており、ペンケオタソイ川合流点付近では、礫・砂が分布する。

広内川の上流域は森林が広がり、中下流域は農地や新得町市街地が広がる。

広内川は、ペンケオタソイ川合流点から上流に向かって0.7kmは昭和58年～62年に、その上流1.1kmは昭和63年～平成6年に河川改修が行われている。また、根室本線石勝線上流については、平成9年～11年に砂防工事（床固工）が行われている。

広内川において近年大きな被害は発生していないが、平成28年の台風10号では、隣接する中新得川において甚大な被害が発生している。再度災害防止の観点から、広内川ではペンケオタソイ川合流点から中新得川放水路合流点までの延長0.9kmにおいて河川改修を実施するとともに、ペンケオタソイ川及び中新得川と一体となって、治水安全度を確保する必要がある。



▲広内川周辺の市街地

(16) 中新得川

中新得川は、その源をオダッシュ山付近の山地に発し、新得町市街地とその上流部の農地を流下し、佐幌川へ合流する流域面積4.6km²、流路延長9.7kmの一級河川である。

中新得川の河川名は、シットクがシリ・トクで山の突き出ているところをいう（「アイヌ語地名解 北海道地名の起源」^{※5}による）。また、新得町市街地の中央部を流れることから川名に「中」がつけられている。

中新得川流域の地形・地質について、源頭域のオダッシュ山付近の山地は主に花崗閃緑岩及び花崗岩からなり、周氷河性斜面堆積物（崖錐堆積物）が基岩を覆って広く分布している。中下流域は、段丘堆積物の砂礫や火山灰により構成されており、それ以降、砂、礫、粘土を主体とした扇状地堆積物が分布する。

中新得川の土地利用については、上中流域は農地が広がり、下流域は新得町市街地が広がる。

中新得川は、昭和40年～51年まで新得町による改修工事が行われている。しかし近年では、平成28年8月の台風10号により10haの浸水、浸水家屋12戸の被害が発生し、この災害を受けて、平成31年2月に新得町が準用河川に指定し、令和4年7月には一級河川に指定されている。

新得町市街地の再度災害防止の観点から、中新得川から広内川への放水路0.36kmを整備し、中新得川0.04kmにおいて河川改修を実施するとともに、ペンケオタソイ川及び広内川と一体となって、治水安全度を確保する必要がある。



▲中新得川周辺の市街地

表1-15 中新得川における主な災害

年次	浸水面積 (ha)			浸水家屋 (棟)			被害原因・被害状況
	農地	宅地	計	床下	床上	計	
H28. 8. 23～30	-	-	10.0	10	2	12	台風10号



▲3条橋付近の被災状況

<平成28年8月>



▲新得町市街地の被災状況

<平成28年8月>

参考文献

- ※1 「北海道の川の名増補版」 著者名：山田秀三 昭和47年6月
- ※2 「角川日本地名大辞典」 著者名：角川日本地名大辞典編纂委員会 昭和62年10月
- ※3 「アイヌ語地名リスト」 北海道環境生活部アイヌ政策推進局アイヌ政策課
URL: http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ks/ss/nw_timilist.htm
- ※4 「十勝アイヌ語地名解」 著者名：井上寿 昭和60年
- ※5 「アイヌ語地名解 北海道地名の起源」 著者名： 昭和41年1月